植田好雄通信

5月に市長市議会議員選挙が行われ、改選後初の議会が、6月14日～29日の日程で行われた。ご支援をいただいた皆様のおかげをもちまして2期目の当選を果たすことができ、引き続き議会報告として「植田好雄通信」を発行することができます。初心を忘れず、皆様の声を議会に反映させるべく精進をしていく決意です。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

立憲民主党
島根県江津市敬川町81-1

2022年 7月
NO.6
（改題 19号）

【発行責任者】
植田 好雄
TEL(Fax)0855-52-7837
E-mail
yosio@helen.ocn.ne.jp
HP
http://www.uedayoshio.net/

改選後初6月定例議会

新たな体制がスタート

6月議会は14日に開会した。植田好雄は、植田圭介市議と「市民クラブ」を結成し会派代表となりました。

今議会は改選後最初の議会でもあり議長副議長の選出、組合議会（江津邑智消防組合と浜田江津広域行政組合）の議員選出、常任委員会や特別委員会の設置や委員長副委員長の選出が行われ、植田好雄は、広域行政組合の議員に選出された。

委員長副委員長の選出は、保守系会派（新政クラブ9名、無会派3名）が一本化ならなかったことや、新人議員が6名という中で、広報広聴特別委員会以外の副委員長に新人議員を選任するなど、最大会派の引き回しで行われた人選となった。

植田好雄は、広報広聴特別委員会の委員長に選任をされました。（下記、山陰中央新報記事参照）

常任委員会は、建設経済委員会と予算決算委員会の所属となりました。

14日の議会初日には、18件の議案が提出、6件の報告議案の後、7件の承認案件は即決で表決が行われすべて承認された。

20日に、議員（共産党議員2名）提案「乳幼児等医療費助成の条例改正」の1件を加え19件の提出議案の説明が行われ、陳情「ごうつ地域応援券」第2回目実施に関する陳情と、条例議案（3件）や予算議案（2件）、一般議案（1件）が各常任委員会に付託された。

議長に藤間氏 副には鍛治氏

江津市議会

江津市議会（定数16）が14日開会の6月定例会で、新しい議長に藤間義明氏（71）＝4期、写真右＝、副議長に鍛治恵巳子氏（51）＝3期、同左＝を選んだ。ともに初めてで、鍛治氏は女性初の副議長就任。任期は正副議長とも4年。

全議員の無記名投票で、藤間氏、鍛治氏はともに9票を得た。藤間氏は副議長、予算委員長などを歴任。鍛治氏は建設経済委員長などを務めた。

3常任委員会、議会運営委員会、6特別委員会でそれぞれ正副委員長（任期2年）も決まった。（村上宋太郎）

各委員会の正副委員長は次の通り（◎委員長、○副委員長）

【常任委員会】総務民生＝◎森脇悦朗○寺前克宏▽建設経済＝◎坂手洋介○下谷忠広▽予算決算＝◎河野正行○渡辺信明

【議会運営委員会】◎河野正行○坂手洋介

【特別委員会】地域医療対策＝◎鍛治恵巳子○坂田優美▽波積ダム対策＝◎石橋孝義○寺前克宏▽江の川流域治水対策＝◎鍛治恵巳子○渡辺信明▽議会活性化＝◎坂手洋介○森元健二▽市議会だより編集＝◎坂手洋介○下谷忠広▽広報広聴＝◎植田好雄○山根兼三郎

6月15日付山陰中央新報の記事より

「医療費を18歳まで無償化」議員提案の条例改正は否決

■建設経済委員会は23日に行われ、付託案件を審議しました。

▼「未就学児まで医療費無償を18歳まで無償化する条例の一部改正」は否決されました。

子供の医療費無償化は全く否定するものではないし、趣旨は理解した上で、議員提案の条例改正は、現在未就学児までしか無償化になっていない中で、予算が伴う改正は財源的裏付けもなく施策との整合性の問題や年齢間で助成方法に異なる規定があると解釈でき、混乱が生じる等のことから、共産党議員2名により提出された議員提案は、植田好雄含め「反対多数」で否決となりました。

議員には、予算などの提案権はありませんが、条例の提案権はあります。今回の提案は、条例を先行することで、市長や執行部へは、「無償化を実行せよ」という議会からの圧力にはなるという側面はあると言えますが、今回の議員提案は条文の中身が不十分であり、パフォーマンス的な感が否めないと思います。

今後は、条例の作り方、法的指導など議員も勉強をする必要があると言えます。

▼陳情第1号の「ごうつ地域応援券の2回目実施に関する陳情」は、耕作条件改善事業（区画整理や暗渠排水等の基盤整備に向けた測量設計委託料）に2351万9千円、▼交通系ICカード導入費補助金1058万7千円となっています。

市民クラブで、議案の検討を行い現地および資料要求を行い、事業の具体的目的や効果など質し、ごうつ地域応援券や有福温泉活性化事業、農業振興など必要な予算であるとして、植田好雄は補正予算には賛成しました。

補正予算 4億1465万円

予算決算委員会に付託された補正予算（第2号）は、6月24日に審議された。

歳入歳出4億1465万円を補正し、総額158億7959万円とするものです。

今回の補正は、当初予算編成後に補助金の交付決定がされた、有福温泉活性化事業にかかる経費やごうつ地域応援券（第2弾）など、早期に着手すべき事業が計上されています。

▼有福温泉活性化事業は、放置され老朽化建物や空き家など宿泊施設の高付加価値化改修（10施設）、観光施設（1施設）を観光拠点として再整備し、賑わいの回復と地域活性化に向け、2億4794万円となっています。

▼ごうつ地域応援券（第2弾）事業は、市民全員に3千円分（地元店舗用の地域券2千円、大型店舗用の共通券1千円）の応援券を配布し、市民の消費喚起と地域経済の活性化、商業活動を応援するために、7767万5千円となっています。

その他主なものは、▼担い手育成事業（ブドウハウス等整備補助金）に4088万1千円、▼農地耕作条件改善事業（区画整理や暗渠排水等の基盤整備に向けた測量設計委託料）に2351万9千円、▼交通系ICカード導入費補助金1058万7千円となっています。

市民クラブで、議案の検討を行い現地および資料要求を行い、事業の具体的目的や効果など質し、ごうつ地域応援券や有福温泉活性化事業、農業振興など必要な予算であるとして、植田好雄は補正予算には賛成しました。

改修ホテルに驚きの声

有福温泉で記念イベント

再生事業が進む有福温泉のリニューアル記念イベントが25日、江津市有福温泉町の温泉街で開かれた。7月末以降に開業する2宿泊施設の内覧会、石見神楽や吹奏楽のステージ、露店を約350人が楽しみながら、地域の再興に期待を寄せた。

内覧会は、旧わたずや旅館を改修し7月30日に開くホテル「Showcase Hotel KASANE（ショーケース・ホテル・カサネ）」（5部屋）と、旧旅館横口の一部を改修し8月中にも開業するホテル「アウルリゾート有福温泉」（16部屋）が客室の一部を公開。生まれ変わった施設に驚きと喜びの声が上がった。

温泉街には露店とキッチンカー計8店が並び、来場者は食べ歩きをしながら、石見神楽や県西部のアマ愛好家による吹奏楽演奏を観賞した。

有福温泉街でイベントを楽しむ人たち＝江津市有福温泉町

温泉街では市が昨年度から再生事業に着手。イタリアンレストランが昨年10月に開店するなど観光施設の新設や改修が進んでおり、2宿泊施設の開業のめどが立った節目に、旅館や飲食店など9事業者でつくる有福温泉振興会（川中英章会長）がイベントを開いた。

式典で川中会長（61）があいさつし「地域への誇りと10年後の未来に希望が持てる集落づくりに取り組んでいきたい」と力を込めた。（村上宋太郎）

6月26日山陰中央新報の記事より

地方自治は二元代表制

今議会で山下市長は最後の議会となり、9月定例議会は新市長のもとで議会となります。

市長と市議会議員は「二元代表制」であり、市民の直接選挙で選ばれています。

議員は、法律や予算など審議・決定の議決権を持つが、首長は予算を提案し執行する責任を持っています。こうしたことから、市民サービスの提案・実施する市長を「執行機関」、提案を審議・議決する議会を「議決機関」とも言われています。

国会のような与野党の対立という構図でなく、共に市民の代表であり、市議会議員と市長が、お互いに対等の立場に立ち、議論を重ねながら、市の発展のために取り組んでいかなければなりません。

皆様のお力で、二期目の貴重な議席を与えていただきました事に感謝とお礼を申し上げます。暮らしやすい市政の発展に向けたご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。。

異議なく採択されました。

▼国民健康保険条例の一部改正は、新型コロナウイルス感染症の影響により、保険料減免の事由に該当する場合、令和5年3月31日まで申請の提出期限の特例を設けるもので、原案通り可決されました。

■総務民生委員会に付託案件は、22日行われた。

▼職員の育児休業等に関する条例の一部改正は、会計年度任用職員の育児休業要件を緩和、妊娠又は出産があった場合の個別周知・意向確認の義務化、雇用環境の整備などが条例内容で、原案通り可決されました。

▼土地開発公社定款の一部を変更する定款についても、原案通り可決されました。

6月定例議会は、29日に議会最終日に一般会計補正予算など6件と陳情1件をすべて原案通り可決して閉会しました。